



誰もが心地よいと感じる場

校長 木村知広

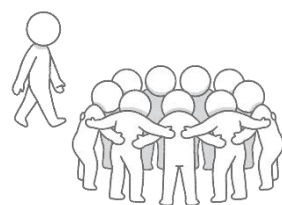
9月1日から2学期の教育活動が始まりました。皆さんが元気に登校する姿を見て安心しましたが、学期が始まるにあたり、不安なことや気になることがありましたら、担任の先生や学年の先生に遠慮なく相談して、よいスタートをきりましょう。

また、2学期は、9年生にとって「進路決定に向けての準備を完了させる学期」、8年生にとって「学校の中心として自覚をもって活躍する学期」、7年生にとって「学びを生かしてチャレンジする学期」となります。さらに、学年・クラスの仲間とともに作り上げる学校行事も控えています。ぜひ、夏季休業で努力したこと、頑張ったこと、学んだこと、考えたこと等の経験を生かすとともに、下記の『目標実現に向けて大切にすること』を改めて心にとめながら、個人・集団の目標実現に向けて、そして個人・クラス・クラスという集団の成長に向けて、みんなで協力しながら素晴らしい2学期をつくっていきましょう。



【目標実現に向けて大切にすること】

- ① 目標を常に見据え、自ら学び・考え・判断し・責任をもって行動すること
- ② 自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること
- ③ 違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもって、多様な人と協働すること
- ④ 自分のことは自分でやること（人のせいにしない）
- ⑤ 目標実現に向けて、個性を活かしながら団結し、協力すること



さて上記のとおり、素晴らしい2学期にするためのポイントの一つとして、『誰もが心地よいと感じる場』を創りあげることが重要です。では、誰もが心地よいと感じる場とはどういう場なのか考えてみましょう。

例えば、右の画像のように、旅行に行った際に、美しい景色に感動したり、楽しい思い出が残ったときの場はきっと心地よいと感じることができたかと思います。また、自宅や好きな場所など自分にとって心穏やかにリラックスできる場であったり、ここにいても大丈夫だと安心できる場も心地よい場だと思います。



東尋坊(福井県)

では、この赤塚第二中学校が「美しいと感じる場・思い出に残る場・心穏やかにリラックスできる場・ここにいても大丈夫だと感じる場」など**誰もが心地よいと感じる場**にするためにはどうしたらよいのでしょうか。一つのヒントとして、動画を視聴してみてください。

かわさきパラムーブメント ～やさしさの連鎖～ No.1

<https://www.youtube.com/watch?v=H3FT8LXj-EA> ←クリックすると動画を視聴できます

思いやりのある優しい行為を見て、その大切さに気がついた方が、優しい行為を実践し、さらにそれを見た方が自身も実践するといった「やさしさの連鎖」がテーマの動画でした。最後のメッセージである「やさしさも連鎖する やさしさは一人一人の心の中にあるもの 勇気を出せばあなたもやさしくなれる やさしさは連鎖して街中にひろがり そしてそのやさしさは きっと一人一人に返ってくる」はとても心に残るものです。きれいな校舎を維持して「美しいと感じる学校」にすることに加え、「思い出に残る学校・心穏やかにリラックスできる学校・ここにいても大丈夫だと感じる学校」にするためには、一人一人の優しさを連鎖させてよりよい人間関係を築き、誰もが心地よいと感じる場を実現させることが大切です。そのためにまずは自分自身も苦しめるネガティブな言葉を多用するのではなく、ポジティブな言葉を多用してよりよい関係を築いていきましょう。皆さんの頑張りを期待しています。

赤塚第二中学校が誰にとっても心地よいと感じる場にするためには？

美しいと感じる場
思い出に残る場
心穏やかにリラックスできる場
ここにいても大丈夫だと感じる場
よりよい人間関係がある場

人間関係：ネガティブな言葉が多い場



心穏やかにリラックスできる場
ここにいても大丈夫だと感じる場
よりよい人間関係がある場

赤塚第二中学校

全国学力学習状況調査結果

令和7年4月に9学年生徒を対象に、国語・数学・理科の学力調査と学習状況調査を実施しました。本校の調査結果は下記のとおりとなりました。 ※IRT スコアは下記の文部科学省資料をご参照ください

	国語（正答率％）	数学（正答率％）	理科（IRT スコア）
赤塚第二中学校	56	53	517
東京都（公立）	57	53	506
全国（公立）	54.3	48.3	503

本校の平均正答率を全国（公立）と比較すると、全ての教科で上回り、東京都（公立）の平均正答率と比較すると、国語では1ポイント下回り、数学では同ポイント、理科では11ポイント上回る結果となりました。日頃の授業では、前向きな姿勢で一生懸命努力する姿を見ているので、その学習態度が結果に表れてきていると考えています。また、結果をさらに分析すると、どの教科も『知識・技能』の問題よりも『思考・判断・表現』の問題を苦手に行っている傾向があることが分かりました。現在一人一台端末を活用して自ら考え・判断し・表現する学習活動の充実を図ってきておりますので、さらに生徒が主体的に学習に取り組む活動や学びの成果を語る機会の充実を図るなどの授業革新をさらに進め、更なる学力向上を図って参ります。

一方、質問紙調査からは、下記のとおり、本校生徒の特徴や教育活動の成果が表れました。

設問	学校に行くのは楽しいと思いますか(%)		自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか(%)		授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか(%)	
赤塚第二中学校	52.9	36.2	42.0	43.7	56.9	37.4
	89.1		85.7		94.3	
東京都（公立）	46.4	40.1	33.9	46.0	44.7	47.4
	86.5		79.9		92.1	
全国（公立）	45.6	40.5	31.4	47.8	45.5	46.4
	86.1		79.2		91.9	

※上段左:当てはまる割合/上段右:どちらかといえば、当てはまる割合/下段:肯定的な割合(上段の合計)

9年生の多くが、「学校へ行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と感じていることは、大変嬉しいことです。特に今年は、「**目標実現に向けて、個性を活かしながら団結し、協力すること**」である**協働**を重視していることに加え、「目標を常に見据え、自ら学び・考え・判断し・責任をもって行動すること」「自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること」「違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもって、多様な人と協働すること」「自分のことは自分でやること（人のせいにしない）」を大切にできた成果が結びついておりと実感しております。

また、「自分にはよいところがあると思いますか」に当てはまると回答した生徒が48.9%、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に当てはまると回答した生徒が52.3%もいることは、年度当初の保護者会でもお願いしたとおり、教職員・保護者を含めた大人が生徒の努力や頑張りをより積極的に「**認め・褒め・励ます**」ことができた成果であると考えております。

学力と自己肯定感には一定の相関関係があると言われておりますので、今後もお子様の頑張りをより積極的に「**認め・褒め・励まし**」ていただきますよう、お願いいたします。

1. IRTスコアをベースに示します

① IRTに基づく調査のイメージ -1

【IRTとは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。項目反応理論（Item Response Theory）。

【IRTのメリット】

①異なる問題からなるテストの結果を互いに比較することができる。

②異なる集団で得られたテストの結果を互いに比較することができる。

※PISA、TOEIC・TOEFL等の英語資格・検定試験、医療系大学間共用試験等で採用されている。

※ただし、問題は別の回や次年度以降も使用することから、原則として非公開とする必要がある。

（調査終了後に、一部の問題については今後使用しないこととして公開することは可能。）

＜参考＞素点方式（正答数・正答率）、IRT方式の比較 ※視力検査を例としたイメージ

	素点方式	IRT方式
得点（スコア） の表現方法	何個のCを 見ることができたか。	どの大きさのCを安定的に 見ることができたか
得点（スコア） の例	 Aさん 3問/5問 (正答率60%) Bさん 2問/5問 (正答率40%)	 Aさん 0.2 Bさん 0.3

※素点方式の場合は、Aさんの方が正答数・正答率が高くなる。IRT方式の場合は、Bさんの方がスコアが高くなる。

※8月27日に「すぐーる」で送信したメッセージを再掲します。

中学生・高校生のみなさんへ
～ 不安や悩みを話してみよう ～



文部科学省

こんにちは。文部科学大臣のあべ俊子です。

夏休みが明け、学校が始まりますが、みなさんはどんな気持ちですか。

久しぶりに会う友人との関係が不安な人

将来に向けて進路や学業の問題で悩んでいる人

親子関係などの家庭内の問題に悩んでいる人

色々な不安や悩みを抱えている人もいます。

また、特に理由はなくても、氣力が湧いてこなかったり、漠然とした不安を抱えていたりする人も
いるかもしれません。

こうしたときには、一人で抱え込まないで、家族や友達、先生、スクールカウンセラー、誰でもよいので、自分の心の内を話してみてください。

周りの人に話しづらいときには、電話やメール、ネットの相談窓口を利用してみてください。

もし、あなたの周りに元気がない友達がいたら、ぜひ積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。

文部科学大臣としても、みなさんの不安や悩みに寄り添いながら、みなさんが安心して学べる学校づくりに向けて、文部科学省一丸となって取り組んでいきますので、みなさんもためらわずに相談してくださいね。必ず味方になってくれる人がいます。

【相談窓口の紹介動画】

<https://www.youtube.com/watch?v=CiZTk8vB26I>

【電話やメール、ネット等の相談窓口】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和7年8月

文部科学大臣 あべ 俊子

生徒の活躍

○第71回全日本中学校通信陸上競技東京都大会 女子1年 800m 第2位

○第37回東京ジュニア陸上競技大会 女子2年 1500m 第4位

○第65回東京都中学校吹奏楽コンクール B組 銀賞

○第24回りんり俳句大賞 春・初夏の部 入賞



学校行事等のお知らせ

本校ホームページの赤二中日記では、学校行事等の様子を公開しています。右のQRコードもしくは下記のURLからご確認ください。また、玄関にも生徒の活躍等をサイネージとして公開しています。ご来校の際にはぜひご覧ください。

<https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog>



赤二中日記